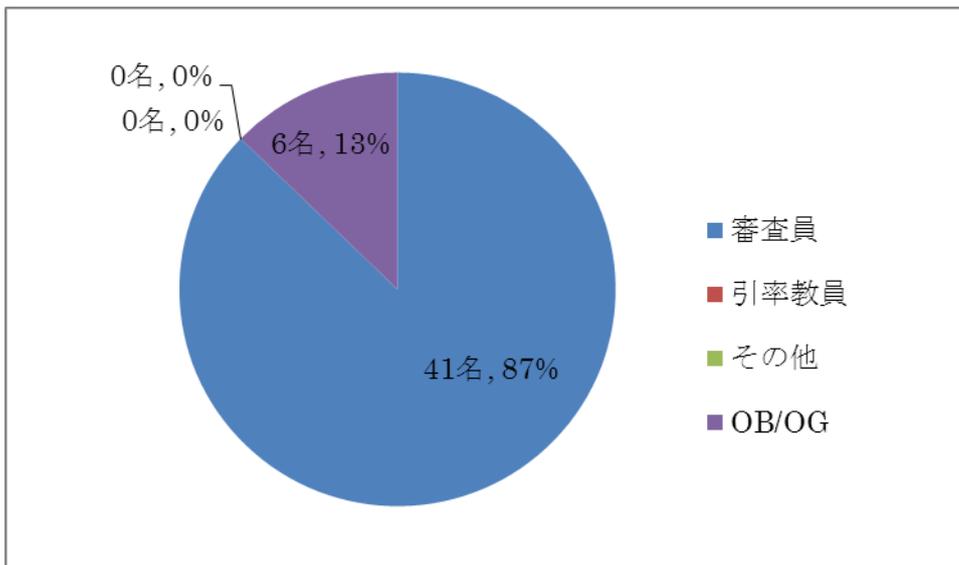


# 第11回大学対抗交渉コンペティション 審査員アンケート集計結果

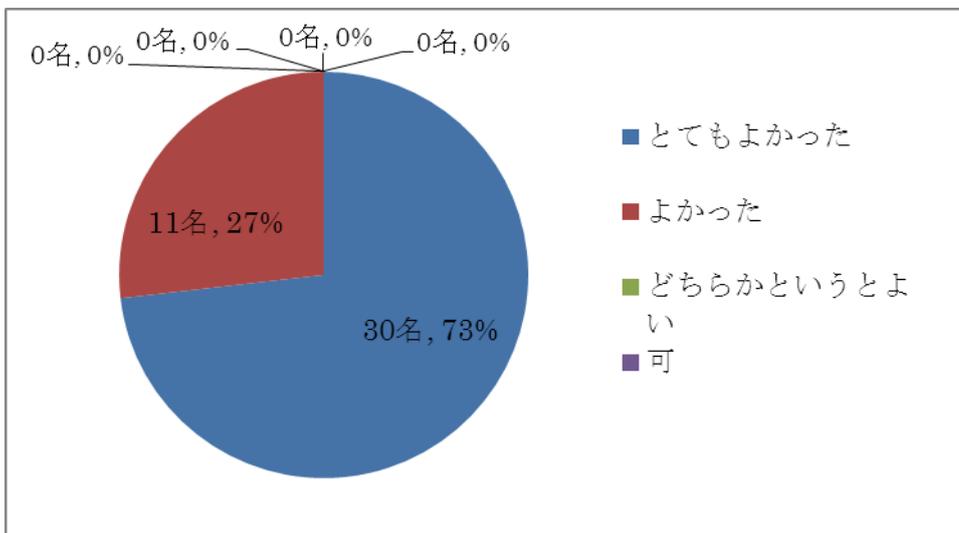
作成者：大阪大学交渉教育支援センター／INC事務局

- ・アンケート実施年月日：2012年12月2日（日）
- ・有効回答人数：41名

## Q1. 大会での役割



## Q2. 本コンペティションの評価はいかがですか



## Q3. 課題問題についてご意見があればお聞かせください

(御意見例)

- ・適切でした。タイムリーな問題だと思います。
- ・よく作りこまれています。時間が短いことを考えると、論点を少し絞ってもよいかと思いました。
- ・毎年、ホットな 이슈を扱っていて、素晴らしいと思います。



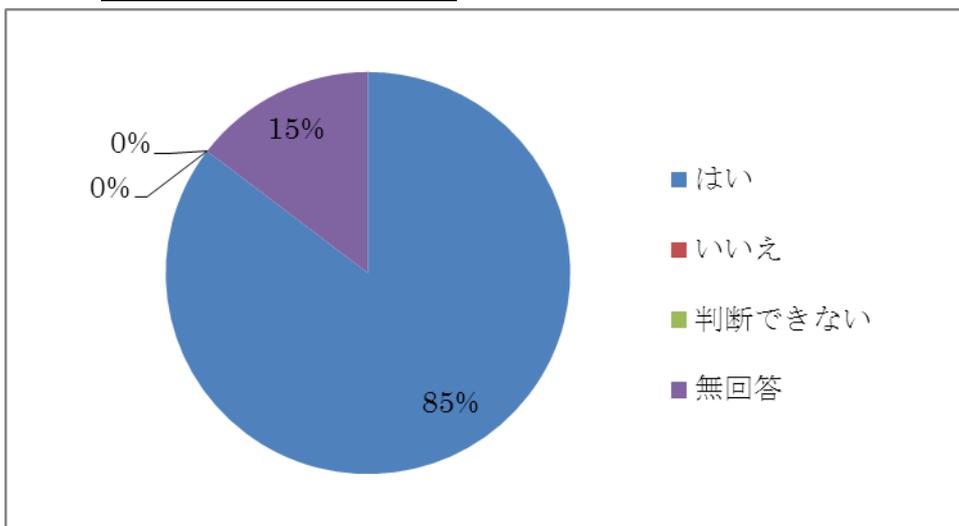
- ・このくらいビジネス的にも厳しい問題がある程度自由にやる、というのは大変良いと思います。事業計画・マクロ経済・業界 etc.与えられたデータを十二分に交渉の武器とするマインドが大切でより教育すべき。
- ・B/R に過剰な立場の差がなく良い問題だった。
- ・今回の問題は実務ケース以上に論点が多く、難度も高いもので「考えさせ」「議論させる」という点では大変素晴らしいと思います。論点は 3 つでも良かったかもしれません。(深堀できる力のあるチーム同士の対決でしたので、もっと戦ってほしかった)
- ・It was indeed interesting questions, but four cases may be too much when you require the enriched discussion from students.
- ・Extremely good problem. It must have taken a great deal of time to construct.

Q 4. 審査票・基準および配点について改善点があればお聞かせください

(御意見例)

- ・絶対的評価とは言っても、3 の評価基準の決定が容易ではないので、もう少し客観性のある基準があればありがたい
- ・基準に対して、「何を勝ち取ったか」という結果への評価がもう少しあってもいいのではないか
- ・少し細か過ぎる感がします。全体的印象についての項目も必要ではないでしょうか
- ・タイムマネジメントという項目は必要ではないか。また、「合意メモ」という項目名がよくわかりにくい
- ・チームワーク点は評価が難しいものの、何らかの測定は必要であり、この形で適当と思量
- ・The idea of handicapping postgraduates or those with practical experience is problematic for the judges – how much do you handicap? This is very subjective could be unfair. Can these be 2 competition levels perhaps or maybe judge them the same automatically deduct a set amount of marks (at central level). Sorry, not quite sure what the question means.

Q 5. 本コンペティションが学生の交渉・仲裁教育に対するインセンティブを高めるのに役立っているとお考えですか





Q 6. その他、感じたこと・来年以降に向けて改善してほしい点など、ご自由にお書きください

(御意見例)

- 上海交通大学が復帰することを願っております。
- 準備書面における字数制限を少しゆるめてはどうか。本来記載すべき点が記載されていないよりはいいと思います
- 時間をあと 1 時間プラス。メモランダムドラフト作成にもう一度ネゴ（確認）のチャンスを与えて、よりビジネスに近いシチュエーションとする。
- Well done! Fantastic competition.